



活動報告

ホームページリニューアル

神戸文化マザーポートクラブのホームページを大幅リニューアルしました。会員企業様の紹介ページも充実し、作成にご協力いただきありがとうございます。神戸の芸術文化や若手芸術家の活動の益々の活性化を願って、クラブ活動やイベントなどを中心に情報発信していきます。クラブへの入会申込みもホームページからできるようになりましたので、加入を希望される方がいらっしやいましたらぜひご案内ください。
<https://www.kobe-bunka.jp/kmpc/>
 こちらのアドレスからご覧いただけます。

支援・助成事業の紹介

第40回神戸ジャズストリート

日時：10月7日(土)・8日(日) 12時～17時
 場所：北野町界限9会場

料金：1日券4,600円、両日券8,700円 ※前売りは割引あり※中学生～大学生は1,000円(当日会場の本部でのみ販売)、小学生以下は無料
<https://www.kobejazzstreet.gr.jp/>
 【問い合わせ先】神戸ジャズストリート実行委員会事務局 (Tel. 080-3864-2011)

神戸ジャズセンターリアル

日時：10月22日(日) 10時～17時40分

場所：神戸三宮・旧居留地周辺6会場
 料金：無料

出演者：一般公募約150組の中から選出した37組、ゲストアーティスト5組
<https://kobe-jazz100th.jp/>

【問い合わせ先】Kobe Jazz Centennial 実行委員会事務局 (Tel. 3511-3597)



神戸ジャズ100年／これからが大切／道満雅彦氏に聞く

プロバンドが日本で初めて神戸でジャズを演奏して今年で100年。神戸文化マザーポートクラブでも10月22日開催の「神戸ジャズセンターリアル」や10月7・8日開催の「神戸ジャズストリート」に協賛するなど、記念行事が多彩に開かれています。ジャズを神戸の文化として育み、次代へどう伝えていけばいいのか。神戸経済界のジャズ通で当クラブ幹事の道満雅彦さんに、ご自身のジャズの思い出とともに語っていただきました。

◆ ◆ ◆ ジャズとの出会いは中1

ジャズとの出会いは甲南中学・高校時代。プラスアンサンブル部は今でこそコンテスト強豪校ですが、当時はビッグバンドも組めないような部でした。

中1の時、渡辺貞夫さんの演奏に魅せられ、アルトサクスを始めました。世

間がビートルズやベンチャーズに沸く中、「テイク・ファイヴ」で知られるサクソ奏者ポール・デスモンドやピアノストのデーブ・ブルーベックを聴きまくり、高校の時にアルバイトしてデスモンドと同じセルマーマーク6を買いました。同じ音が出るはずだと信じ込んで。



ジャズと出会って半世紀余り。サクソ演奏を楽しむ道満さん

◆ ◆ ◆ 千ドルを手に船で米国へ

世界がベトナム戦争、オイルショックに揺れていた1971年、高3の正月に、卒業式も大学の前期出席も投げうって一人で神戸から米サンフランシスコ行きの船に乗りました。船賃は1万円ほどだったかな。所持金は千ドルでした。

「本物のジャズに触れたい」という、ただその思いだけで。現地のレストランで働きながら、有名店めぐり、数々の

演奏に触れました。名トランペッターのリー・モーガンが演奏中に愛人に拳銃で撃たれて亡くなる前のライブも聴きました。どこか人生から逸脱したジャズメンの人生にも魅かれました。

■ジャズのまちづくりに参画

やがて、演奏そのものには限界を感じて、社会に出てからは聴く側に回っていました。阪神・淡路大震災後、誘われて「神戸新開地ジャズヴォーカルクイーンコンテスト」に関わる縁をもらいました。社としての協賛に加え、服部克久氏、小曽根実氏ら巨匠に交じって本審査までさせていただくようになりました。

個人的には映画やドラマで流れてくるアルトサクスが絡む女性ボーカルバラードが大好きで、自分なりに楽しさを追い求めながら応援している感じですね。

■ポスト「神戸ジャズ100年」

神戸のジャズ100年はめでたいですが、これからが正念場。22回続くヴォーカルクイーンコンテストなど息長く続けることと、「ジャパン・ステューデント・ジャズ・フェスティバル」のように次世代を育てる取り組みが大切です。

「おしゃれ」「おとなのセンス」など神戸の都市イメージは、ジャズに重なりま

す。今後のまちづくりにとって、ジャズは重要な舞台装置。演奏環境もライブハウスのほか、北野、東遊園地、港など多彩です。ジャズが音楽の「ジャンル」でないのと同様に、一つにまとめてしまう必要はないと思います。

高槻でジャズストリートが盛り上がっています。店ごとの色で楽しめます。出演者の多くが神戸で活躍している面々なので、ぜひ神戸も盛り上げてほしい。神戸ジャズストリートも変化が見えてきたので今後が楽しみです。

■半世紀超えジャズを楽しむ日々

ジャズに出合ってから半世紀余り。プレイヤーの道はあきらめても、楽器や音色などにもこだわりながら、今もジャズ演奏を楽しんでいます。今も毎月第四土曜日の夜、甲南山手のzing(ジング・ミュージック・ラボ)に仲間が集まってセッションしています。皆さんも、ぜひ楽器を持って遊びに来てください。

(談)



今後の予定

講演会

日時…12月14日(木) 14時〜17時
会場…神戸ポートピアホテル本館地下1階「布引・北野」

内容…講師・松下麻理さん(神戸フィルムオフィス代表、アーティスト・イン・レジデンス支配人)

(仮題)「芸術・文化を活かした都市プロモーション」

詳細が決まり次第、参加受付をメールにてご案内いたします。

会員交流会

来年2月の交流会は決まり次第ご案内します。

その他お知らせ

令和4年度決算・令和5年度予算をホームページ上からご確認いただけるようになりました。詳細はメールにて会員様にお知らせいたします。



編集後記

今号はジャズの特集紙面です。子供のころ、日曜になるとわが家のステレオから流れていた雪村いづみの歌、グレン・ミラーオーケストラの演奏を思い出しました。ジャズと知るのは後のこと。得体的にれない大人の音楽に魅かれたものでした。今も時間があれば聴いて、奏でています。ジャズが神戸の代名詞になる日を楽しみに。今号から編集をお手伝いさせていただきます。どうぞよろしくお願いたします(M)

編集・発行

神戸文化マザーポートクラブ事務局

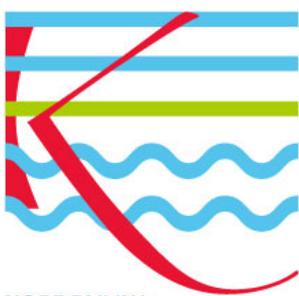
(公財)神戸市民文化振興財団内

〒651-0017

神戸市中央区楠町4-2-2

Tel. 078-361-7176

Fax. 078-351-3121



KOBE BUNKA
MOTHER PORT CLUB